

農業



平成24年2月号
会誌 No. 1556

目次

巻頭言

甦れ！日本の里：三富新田……………進士五十八 3

論壇

TPP 論議に欠けるもの……………祖田 修 4
－“場所性”の問題－

農芸委員会

バイオマスエネルギーを巡る現状と課題…………… 6
－バイオマスエネルギーチーム（第1回）の概要－

バイオマスエネルギーを巡る施策と技術的課題……………西郷 正道 7
総合戦略の評価
再生可能エネルギー導入に向けた取組
緑と水の環境技術革命を推進

建築廃木材を原料とする燃料用エタノール製造事業に携わって…金子 誠二 18
意見交換…………… 20

先進農業者懇談会

奮闘する女性農業経営者…………… 27
－平成23年度第1回先進農業者懇談会から－

4本柱の複合経営を实践……………中村キミイ 27
農業と民宿，レストラン，機織工房……………長南 光 29
養蚕・畑作から施設栽培へ……………上村 貞美 32

座長の補足質問と論点整理…………… 34
意見交換…………… 36

座長総括	48
------	----

農業予算

平成24年度農業関係予算の概要	編集部 50
-----------------	--------

農業・農村の現場から

日本の農産物も海外で勝負できる	井尻 弘 57
－株式会社生産者連合デコポンの輸出事業の取り組み－	

世界の農業は今

中国新疆ウイグル自治区での遊牧民の定住化	大森 圭祐 62
－新疆北部の定住事業の現状と今後の動向－	

東京農業大学収穫祭から(Ⅲ)

次世代農業への挑戦	生産環境工学科農業ロボット工学研究室 68
－新たな農法の可能性－	

統計情報

平成23年耕地面積	74
-----------	----

農政情報

大日本農会だより	76
----------	----

編集部から	76
-------	----

ミニ情報

「女性農業就業人口に占める割合と農業委員会・農協への参画状況の推移」	49
「主要国の農産物純輸出入額」(2008年)	67

表紙写真説明

雪の白川郷 (岐阜県大野郡白川村荻集落)

本年は、2001年以降最大の豪雪を記録している。日本海側の東北、北陸地方はその豪雪の被害が大きくなっている。豪雪の農村景観として再び、白川郷の合掌造りをとりあげた。白川郷の表紙写真は、平成19年1月号でもかざった。白川郷は、岐阜県北西部に位置し、急峻な山々に囲まれた農山村である。周知のように1995年(平成7年)12月、ドイツ・ベルリンで開催されたユネスコの第19回世界遺産委員会で「白川郷・五箇山の合掌造り集落」が、世界文化遺産として登録された。

しかしながら、世界的な文化遺産を保全しながら暮らしを維持していくには地元の方々のはかりしれない営為によって支えられてきた。合掌造りの家屋は、その中からつくりだされてきたものである。村は山間地であるために森林面積が95.7%を占め、その大部分が国有林である。したがって耕地は少なく、江戸時代から生計を維持するために和紙漉き、塩硝作り、養蚕などの家内工業が行われてきた。こうした家内工業は、明治時代以降も継続されてきた。塩硝作りとは、火薬の原料となる硝酸カリウムが、雑草と蚕の糞を利用してつくられていたという。家屋の大型化にも大きく寄与したのは養蚕業であった。しかしながら、その養蚕も衰退してしまった。(写真提供：(社)地域環境資源センター)